

コンプライアンス委員会 山田委員長講演

AAAL 情報委員会
委員長 初野忠之

【概要】

AAAL(活性化連合)への加盟団体のひとつである NAPAC(Nippon Auto Parts Aftermarket Committee:日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会)は、4月19日に大阪千里阪急ホテルにて「JAWA(ジャパンライトアロイホイールアソシエーション)事業部 第3期上期事業部会」を開催しました。

その中で、AAAL(活性化連合)のコンプライアンス委員会委員長の山田守さん(APARA 所属)が“AAAL コンプライアンスへの取り組みと、今後の課題”をテーマに講演しました。会議の内容の報告書をコンプライアンス委員会より受領しましたので内容を簡単にまとめ情報委員会より報告させていただきます。なお、当日使われたプレゼンテーションチャートも一部修正のうえ AAAL のページ(APARA ホームページ内)に掲載しますのでご興味のある方はご覧ください。



【コンプライアンス委員会 委員長講演】



<講演内容抜粋>

コンプライアンス遵守は時代のニーズであり、自動車用品・部品アフターマーケット業界の発展には必須条件。

取組み姿勢に対しては、社会や行政からの注目度が一層厳格になり、企業としてのみでなく、業界として取り組んでいるという姿勢が重要。

各企業の問題を業界の共通課題として捉え、解決していくことが必要。

今回講演先が NAPAC という事で、ホイールに対する技術基準マークや、車両からの回転部分のハミ出しに関する内容について事例をあげて説明しました。また、国が実施する不正改造車排除運動への協力や、個人情報保護法に対する取組、知的財産権の保護に関する事について講演しました。最後に社会貢献と企業倫理の重要性について、企業が社会的信用を失うことでの企業リスクについて説明を行いました。

【座談会及び講演開催】

講演会の後、業界の基礎を築いた6名のパネリスト（ブリッツ会長：山口氏／共豊コーポレーション顧問：橋本氏／藤壺技研工業会長：藤壺氏／アクセル代表：水野氏／ワーク代表：田中氏／トムス会長：舘氏）による「チューニング業界の黎明期」と題する座談会のほか、パラダカールラードライバーの増岡 浩氏による講演も執り行われ、盛大に開催されました。



以上